

福祉レジームと 日本の転換点

コミュニティ・混合介護・外国人
介護従事者の課題

2017年1月7日(土)
午後1時半～4時

場所

名古屋柳城短期大学35教室

名古屋市昭和区明月町2丁目54
<http://www.ryujo.ac.jp/access/>

趣旨：日本の福祉レジームは大きな転換点を迎えている。地域包括や総合事業のように家族・地域の重要性が強調され、混合介護といった市場化も進展している。さらに技能実習などの形で海外人材の受け入れも開始される予定だ。こうした地域・市場・海外人材という変化を見据え、超高齢社会のあり方について検討する。

主催：京都大学大学院文学研究科安里研究室

後援：日本介護福祉学会（予定）

入場無料・申し込み必要・託児可能

申し込み・問い合わせは名前と所属を明記の上

kaigo.international@gmail.com

京都大学安里研究室まで

登壇者

明石純一
(筑波大学)
「安倍政権の
外国人政策」

安里和晃
(京都大学)
「福祉レジームと
日本の転換点」

大崎千秋
(名古屋柳城短期
大学)
「外国人介護士
の現場での実情」

太田貞司
(京都女子大学)
「日本の介護福
祉実践と外国人
介護従事者」

結城康博
(淑徳大学)
「外国人介護士
受け入れのメリッ
ト・デメリット」